

2025 年度 ALPS 国際シンポジウム

多様化する国際情勢下の地球温暖化対策 と世界各国の政策動向と展望

2026 年 3 月 4 日 (水) 10:00 ~ 17:30

ベルサール虎ノ門 2F ホール および WEB 配信

主催：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 共催：経済産業省

入場無料
同時通訳あり

ごあいさつ

RITE では、経済産業省の委託事業として「地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業」（通称 ALPS: ALternative Pathways toward Sustainable development and climate stabilization）を実施しています。この研究事業では、グリーン成長に資する国際枠組み、国際戦略立案に資する研究を進めており、また長期の気候変動リスクにどう対応するか、について検討を行っています。カーボンニュートラル実現のためには、再生可能エネルギー、原子力、CO₂回収貯留（CCS）、水素系エネルギー、そして大気中 CO₂回収技術（DAC）なども含め、様々な対策が必要です。また、様々な省エネは引き続き、重要な対策と考えられ、更にデジタルトランスフォーメーション（DX）によって誘発されるサーキュラー・シェアリングエコノミーなどは、エネルギー需要量を低減できる大きな社会変化の可能性を有しています。グリーントランスフォーメーション（GX）実現に向けて、このような様々な対策の貢献がどのように期待できるのかについて、定量的かつ包括的なシナリオ分析等を行っています。そして、地球温暖化問題研究で世界的に著名なオーストリアの国際応用システム分析研究所（IIASA: International Institute for Applied Systems Analysis）、米国の未来資源研究所（RFF: Resources for the Future）、国際エネルギー機関（IEA）をはじめ、世界の研究機関とも協力しながら研究を進め、我が国の気候変動政策の立案、IPCC や COP での国際的な議論に貢献することを目的としています。

世界は、気候変動危機に対応すべく、1.5℃目標、2050 年のカーボンニュートラルの実現に向けて取り組みを強化しています。しかしながら、世界の CO₂ 排出量は引き続き増大基調にあり、2024 年の世界平均気温は 1.5℃上昇を超えました。さらに、終結の見通しが立たないロシアとウクライナの戦争や中南米情勢の深刻化、さらには米国トランプ関税導入による世界経済への影響をはじめ、世界の政治情勢も不安定化するなど、国際情勢は不確実性が高まっています。このような中、日本は、2050 年カーボンニュートラルに向けた排出削減と経済成長・産業競争力強化を共に実現していくため、GX 政策を進めており、GX2040 ビジョンもとりまとめられたところです。また、製造業の拠点はアジアにあり、GX2040 ビジョンでもアジアでの脱炭素化の協力強化の方針も打ち出されているところです。排出量取引制度 GX-ETS の制度設計も進められ、2026 年度からの制度導入において、その影響も注視する必要があります。複雑化する情勢の中、経済と環境の好循環実現への道筋と課題について焦点を当てつつ、本研究事業の成果報告会を兼ねて 2025 年度 ALPS 国際シンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、欧米、アジアの著名な専門家による、国際動向や今後の展望を様々な視点から紹介いただきます。最新の研究成果を皆様の取り組みへの参考にしていただけるよう多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構（RITE） 理事長 山地 憲治

お問い合わせ

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ
E-mail: alpssympo@rite.or.jp TEL: 0774-75-2304

プログラム

- 10:00** 開会挨拶 山地 憲治 公益財団法人地球環境産業技術研究機構（RITE） 理事長
- 10:05** 挨拶 町井 弘明 経済産業省 GX グループ 地球環境対策室 室長
- 10:15** 趣旨説明 秋元 圭吾 RITE システム研究グループ グループリーダー
- 10:30** 基調講演 『Technological Dynamics and Social Change for a Carbon-Neutral Future: Navigating Geopolitics and Inequality to Achieve a Safe and Just Transition』
Dr. Nebojsa Nakicenovic, Distinguished Emeritus Scholar and former Deputy Director General, International Institute for Applied Systems Analysis (IIASA)
- 11:10** 講演 『A year of recalibration for climate policy in the United States』
Dr. William A. Pizer, President and CEO, Resources for the Future (RFF)
- 11:50** 休憩
- 13:00** 講演 『Power Sector for the Developing Asian Regions by 2050: Modelling the strategic vision』
Dr. Joyashree Roy, Distinguished Professor and Center Director, Asian Institute of Technology
- 13:40** 講演 『2035 NDC and Carbon Neutrality in Korea』
Dr. Tae Yong Jung, Professor, Graduate School of International Studies, Yonsei University (延世大学)
- 14:20** 講演 『日本の排出削減シナリオ分析と政策動向』
秋元 圭吾 RITE システム研究グループ グループリーダー
- 15:00** コーヒーブレイク
- 15:20** パネル討論 『炭素価格政策と国際競争力』
モデレーター：長島 美由紀（RITE 主任研究員）
パネリスト：
上野 貴弘（電力中央研究所 社会経済研究所 上席研究員）『CBAM が日本の対 EU 輸出に与える影響』
手塚 宏之（日本鉄鋼連盟 エネルギー技術委員会 委員長）『EU の炭素価格政策』
Dr. Tae Yong Jung (Professor, Yonsei Univ.)
Dr. William A. Pizer (President and CEO, RFF)
- 17:20** 閉会挨拶 本庄 孝志 RITE 専務理事
- 17:30** 閉会

※ Dr. Malak Al-Nory の講演はなくなりました。

※当日、会場での講演資料の配布はございません。WEB 上で随時公開しますのでご覧ください。

お申込

申込締切 2月26日(木) 17時

お申込み先：<https://www.rite.or.jp/fy2025alpssympo.html>

お問い合わせ先：alpssympo@rite.or.jp

※ご提供いただいた個人情報は、今後当機構の関係するイベント等のご案内のために利用させていただくことがあります。



会場

ベルサール虎ノ門 2F ホール

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-2-1 住友不動産虎ノ門タワー 2F

「虎ノ門駅」3 番出口徒歩 4 分（銀座線）

「虎ノ門ヒルズ駅」A1 または A2 出口徒歩 5 分（日比谷線）

「溜池山王駅」14 番出口徒歩 4 分／9 番出口徒歩 5 分（銀座線・南北線）

「霞ヶ関駅」A13 出口徒歩 8 分（千代田線・丸ノ内線・日比谷線）

